

公民館活動

協働策で自治意識の高揚を

町長／地域の個性や特色を推進



木下賢治議員

公民館長の
サポート策は

町長／専門部や
窓口職員活用を

木下 区公民館活動の中で、社会教育だけでなく、福祉、産業振興にも取り組みえないか。また、新しいシステムを区に提案出来ないか。

町長 区公民館長研修会の回数等を検討します。平成20年度から区公民館制度へ移行し、中央公民館に主事を置き、事務や運営の援助を検討しています。区公民館長のサポートについては、専門部制や地域担当窓口職員制度を積極的に活用していただきたいと思います。

地域担当窓口職員制度

各区公民館に、地域と

行政のパイプ役として、

職員を輪番制により配置

勤務時間でも上司の許可

を得て地域の活動に従事

することができるよう。



薩摩中央公民館（薩摩地区）



中尾正男議員

災害復興

なぜ輪中堤か

町長／基本的な変更は難しい

中尾 河川激特事業で柏原地区の整備は「輪中堤」による整備方針が示されたが、川内川本流の築堤を要請すべきではないか。

町長 今回の河川激特事業は、川内川の氾濫をなくし、家屋の浸水被害の解消を図る目的で実施されるものです。

町としても地元の要望を踏まえながら協議していますが、現段階では難しい状況です。

今後、現地測量が行われ、工法等の検討がなされる中で要望したいと考えています。

輪中堤（わじゅうてい）

ある特定の区域を洪水から防衛するために、その土地の周囲を囲って築造される堤防。



輪中堤が検討されている
柏原地区